

また、45 年以上営業を続けている The Standard Nursery への聞き取りによると、タイやオランダからの輸入品は流通し始めているものの、ネパールにとっては目新しい品目である。同社は 90 年代に購入したが冬を越せなかったとのことで、ネパールにおける生産者はいないと認識している。ネパールで生産するには生育条件を満たす必要がる (OCG：ハウスや環境制御が必要だと考える。生産量日本一の愛知県でもガラス張りの温室で栽培)。

● ネパールにおける食用バラの状況

FAN へ問い合わせたが、ネパールでの食用バラの生産は確認できなかった。

● ネパールにおけるコールドチェーンの状況

表 14: 花卉生産企業・農場の冷蔵施設

	企業名	基本装備	備考（仕入れ先・販売先など）
1	Standard Nursery, Basbari, Kathmandu, Nepal	➤ 自社の一時保冷施設を持つ。保冷施設の標準サイズは、縦 6 m、横 4.5m、高さ 3 m。	➤ ネパールの最も大きな花卉企業の一つ。 ➤ 仕入れ：基本的に自社農場、契約農場から（稀に、種と苗を EU 諸国、インドから仕入れ。以前は、日本からも仕入れていた）。 ➤ 出荷：カトマンズ盆地周辺や他地区へ。
2	Kumari Nursery, Paknajol, Kathmandu, Nepal	➤ 自社の卸売店用保冷施設を持つ。収量は 10 m ³ サイズで、オーダーに応じて数日から数カ月を上限とした保冷が可能。	➤ 切り花の予約販売を基本としている。 ➤ 仕入れ：基本的に、自社農場、他農場から。インド、EU 諸国からも仕入れ。 ➤ 出荷：カトマンズ盆地周辺や地区へ。以前は、カタールや UAE など中東向け海外市場へ出荷。
3	United flora, Banchhighat Marg, Tripureswor, Kathmandu Nepal	➤ 切り花のいくつかの行程に応じた保持施設として、冷凍庫や冷蔵室等の冷蔵施設を所有。	➤ ネパールで最も大きな花卉企業のひとつであり、切り花の収量能力は 25-30 万本/回程度。 ➤ 仕入れ：チトワンにある自社農場、バリー内の他の自社農場、契約農場、インド、タイ、オランダから。 ➤ 出荷：カトマンズ盆地内が多い。
4	Global flora, Kathmandu Plaza, Hattisar Road, Kathmandu, Nepal	➤ 一時保存の自社の冷蔵施設を持つ。収量能力は 25-30 万本/回程度。	➤ ネパールで最も大きな花卉企業の一つであり、カトマンズ近郊に自社の卸売店を持つ。 ➤ 仕入れ：カトマンズ盆地内の自社農場や他の農場、契約農場、インド、タイ、中国、EU 諸国。 ➤ 出荷：カトマンズ盆地内が多い。
5	Flora shine nursery farm Thali , Lalitpur	➤ 農場に自社の保冷施設を持つ。 ➤ 冷蔵施設はポータブルタイプで、今後拡大予定。	➤ 主にバラを扱う。 ➤ 出荷：自社農場（苗を出荷）。

表 15: 商社・倉庫会社の冷蔵施設

	企業名	基本装備	備考（仕入れ先・販売先など）
1	カトマンズのトリブバン国際空港	➤ 貨物の中継、検査、一時保存のための冷蔵保管サービスを提供。	
2	Valley Cold Store Pvt. Ltd. , Naya Bazar Indraayani Sadak, Kathmandu, Nepal	➤ 冷蔵輸送も可能な設備もあるが、主に鶏肉のみを対象。	➤ 本バリーグループが運営するネパールで最も大きな規模な保冷企業の一つ。 ➤ 多様な地区、国内・海外（インドおよびその他のアジア諸国）からの輸入に携わる。
3	Budathoki cold storage (BCS), Lamthumki, Sitapaila -1, Kathmandu, Nepal	➤ ミネラルウォーター、野菜、果物、肉製品などの保冷施設を持つ。 ➤ 3600MT の 冷 蔵 施 設 、 1600MT の保冷库（-20℃）、2500MT のプラスト冷凍プラント、60MT のアイスブロックプラントを所有。	➤ 氷点下レベルで保管できるネパールで最も有力で最大かつ老舗の保冷倉庫企業の1つ。 ➤ 輸入：豆類の種子と花はインドから輸入し、米の種子と野菜は様々な国から輸入。 ➤ 輸出：肉は中国、ベトナム、インドなどに輸出。
4	Bhat Bhateni Super Market & departmental stores, Kathmandu, Nepal	➤ 食品、農産物、一部の飲料のための保冷施設の運営を行っている。	➤ ネパールを代表するスーパーマーケットおよびデパートチェーンであり、全国主要都市に展開。 ➤ 国内・海外からさまざまな製品の仕入れがある。
5	Kohinoor Cold Stores , Balaju, Kathmandu, Nepal	➤ カトマンズの工業地帯にある、ネパールの農産物の最大の保冷倉庫の1つであり、大型の冷蔵施設があり、数ヶ月まで保管可能。	➤ 花卉を含む食品、飲料、果物、野菜のアイテムも、需要と注文に応じてここに保管可能。 ➤ 自社農場や畑を所有しないが、他の企業や小売店と共有している。
6	Durga Cold Stores Pvt. ltd , Curry, Hetauda-10, Makawanpur, Nepal	➤ 小規模な保冷企業であり、果物と野菜を数日間保管するために施設を所有。	➤ 仕入れ：マクワンプル地区とインド。 ➤ 出荷：ヘタウダ、マクワンプル、その他のローカル市場。
7	Cold Stores Nepal, Kathmandu, Nepal	➤ 果物、野菜など農産物を冷蔵する保冷施設を備えた、ネパールで最も大きな企業の一つである。	➤ 野菜及び果物の国内向け集出荷を行う。
8	Ranjitkar Cold Storage Pvt. ltd , Malangwa-8, Sarlahi, Nepal	➤ インドの国境側 sarlahi 地区にある最大の冷蔵倉庫の一つ。 ➤ 2つの冷蔵ブロック（各 900t、合計 1800t）があり、必要に応じそれらを分割使用が可能。	➤ 主要な農産物は、少量のジャガイモ、果物（リンゴ、ブドウ、ザクロなど）、花卉類。 ➤ 仕入れ：主にインドと中国から輸入。

● 関係機関

ネパールの花卉園芸産業に関連する主要な機関は、以下のとおりである。

- Nepal Floriculture Development Center (FDC、ネパール花卉開発センター)
ネパール国における花卉園芸の試験・研究、販売・流通、遺伝資源の流通・促進を行う、政府機関。
- Floriculture Association Nepal (FAN、ネパール花卉協会)
ネパール国における花卉園芸部門全体の振興について、関係機関でつくる協会。非政府、非営利団体である。

● パートナー企業の情報収

FAN（ネパール花卉協会）への聞き取りを通じて、比較的取引額が大きく、日本企業との取引に関心を持つ花卉企業について、以下 5 社の企業情報シートを作成した。

表 16: パートナー企業となり得る花卉企業（基礎情報）

	企業名	住所	設立年
1	Standard Nursery	Basbari, Kathmandu	1974 年
2	Kumari Flora Farm	1.Paknajol, Kathmandu (Retail business) 2.Khusibu, Kathmandu (3 branch) 3.Chitlang, Makwanpur (production site)	2002 年
3	Sunrise Agri Tech	Suryabinayak-4, Bhaktapur	2012 年
4	Unique Flora Farm	Ugratara-8, Janagal Kavre	2007 年
5	A. S. Cut flower Nursery	Nagarjun-8, Kathmandu	2012 年

